第44回 りそなアジア・オセアニア財団セミナー

共英製鋼のベトナム事業と グローバル戦略

クリーンな 未来をつくる。 電気炉で 生まれ変わらせることで。

数々の使命を終えた鉄を。







共英製鋼株式会社 代表取締役社長 廣冨 靖以 2022.10.19

自己紹介



1954 広島県にて生まれる 早稲田大学政治経済学部経済学科卒業後、大和銀行(現りそな銀行)入行 1978 久留米支店長 ▶ 本店営業部 ▶ 御堂筋支店長 1987 企画部長 ▶ 執行役マーケティング戦略部担当 2003 執行役員大阪営業部長 ▶ 常務執行役員 ▶ 取締役専務執行役員 2004 代表取締役副社長 2009 2013 りそなアジア・オセアニア財団 理事長 大塚HD社外取締役 エレコム社外取締役 共英製鋼 取締役副社長 2014 代表取締役社長(現職) 2018 同 イチネンHD 社外取締役(現職)

本日の内容



- (1) 当社グループのご紹介
- (2) 当社グループの海外事業のあゆみ
- (3) 当社グループのベトナム事業
- (4) 海外事業で得た教訓

本日の内容



- 1 当社グループのご紹介
- (2) 当社グループの海外事業のあゆみ
- (3) 当社グループのベトナム事業
- (4) 海外事業で得た教訓

会社概要



名 : 共英製鋼株式会社(KYOEI STEEL LTD.) 社

設 立 : 1947年8月21日

本 社 所 在 地 : 大阪市北区堂島浜1-4-16

資 金 : 185億16百万円

連 結 売 上 高 : 2,927億円(2022年3月期)

連結従業員数 : 4,021名(2022年3月末)

グループ会社 : 国内11社 海外11社(非連結含む)



社長·廣冨 靖以

沿革:75年の歴史 大阪の町工場から世界へ



1939 大阪市城東区にて共英鍛工所を設立

1947 共栄製鉄(翌年社名を「共英製鋼」に変更)を設立

1962 当社初の電炉工場を新設(大阪工場)

🍨 1964 台湾にて合弁事業(初の海外進出)

1982 住友金属工業(現・日本製鉄)と資本提携

1988 環境リサイクル事業を開始



上場時の様子



高島秀次 初代社長



高島浩一 元会長



大阪工場(2016年閉鎖)

1994 ベトナムに進出

2006 東証一部・大証一部に上場

2011 ベトナム北部に2拠点目を設立

🎍 2016 米国の電炉工場を買収

▶ 2018 ベトナムにて港湾事業開始。ベトナム3拠点目を買収

▶ 2020 カナダに進出

2022 東証プライム市場移行

当社グループの製品群











など

I/\(\(^{-}\)

グレーチング(溝蓋)



構造用棒鋼

平鋼



船舶など



等辺山形鋼



駅舎など

納入実績紹介

KYOEI STEEL

オフィスビル



グランフロント大阪(大阪市)

グレーチング(溝蓋)



グレーチング(約70%が当社Iバー使用)

道路橋



東海北陸自動車道 鷲見橋 (橋脚高さ日本一)

高速道路



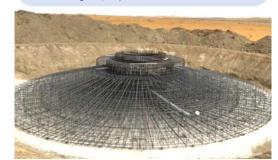
コロラド州デンバー高速道路(2021年完工)

鉄道



ホーチミン都市鉄道(2021年完工)

社会インフラ



風力発電所(Blue Hills Wind Energy Project)

鉄をつくる2つの製造方法



	高炉•転炉法	電炉法
原料	鉄鉱石、コークス	鉄スクラップ
製造工程	鉄鉱石をコークスで溶解・還元	鉄スクラップを電気炉で溶解
特徴	・設備が大規模 ・操業を一時休止した際の 負担大	・設備が小規模 ・操業を容易にオンオフでき、 需要環境に対して柔軟に 対応可能



日本の

電炉比率25.6 % 74.4%

製品

自動車・精密機器向け

建築・土木向け(普通鋼)





電炉で鉄筋ができるまでの映像をご覧ください(約3分)

電炉の強み 1

サステナブルな事業

日本 約 14 億トン 世界の鉄鋼蓄積量 約 3 2 4 億トン

日本の鉄鋼蓄積量は約 **14 億トン** そのうち、年間4,200万トン(約3%)が 鉄スクラップとして回収される

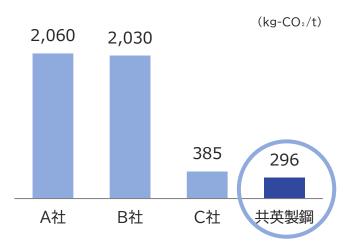


電炉の強み 2

小さな環境負荷

CO2排出量は高炉比大幅に少ない

トン当たりCO2排出量



※各社開示レポートに基づいて作成(2019年度)



当社グループの事業内容



国内鉄鋼 事業

鉄鋼製品の製造・加工・販売



海外鉄鋼 事業

ベトナム、米国、カナダに おける鉄鋼事業



環境リサイクル 事業

電気炉による廃棄物溶融処理やフロンガス破壊処理など



その他の事業

港湾事業、鋳物事業など

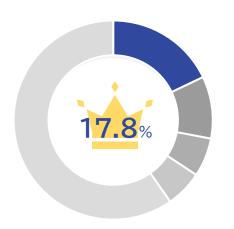


国内鉄鋼事業



鉄筋は建築・土木の基礎的鋼材として使用され、底堅い需要あり 鉄筋は安価な重量物であるため、海外や域外からの参入障壁あり

鉄筋の 国内シェアトップ



国内小形棒鋼シェア(生産量) 出典:日本鉄鋼連盟資料(2020年度)

主要需要地で事業展開



付加価値製品の 製造・販売





ネジ節鉄筋、高強度鉄筋

海外鉄鋼事業



1960年代に海外進出、現在は日本・ベトナム・北米の「世界3極体制」で事業展開



製品出荷量は海外が国内を上回る

製品出荷量推移(万內)



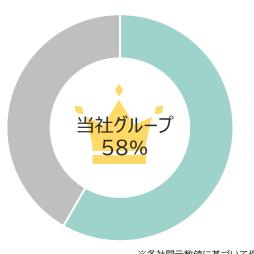
環境リサイクル事業



電気炉の熱を利用した安心・安全の医療・産業廃棄物溶融処理 「注射針の不法投棄を何とかできないか」という思いからメスキュードシステムを開発

電炉による産業廃棄物 処理実績 シェアNo.1

増加する処理困難物の溶融処理に注力

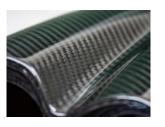


※各社開示数値に基づいて作成 (2021年度)



車載リチウム イオン電池

全国7ヶ所ある認定処理 施設のうち、2ヶ所は 当社グループ!



炭素繊維

自動車の軽量化に伴い 使用量増加



アスベスト

安全に十分配慮した 厳重な受け入れの徹底

その他の事業(鉄鋼周辺事業)

収益機会の拡大・事業の多角化を目指す

港湾事業

- ベトナム南部・VKS社至近にて 2018年1月 開港・操業開始
- 総面積40万㎡の国際一般港



港湾設備(荷揚げ作業)

鋳物事業

- 日本・ベトナムで事業展開
- 当社製品の部材も製造

国内拠点





左:ネジ節鉄筋継手 右:水道管部品

ベトナム拠点





左:モーターケース 右:工作機械部品

加工品事業

- 高強度せん断補強筋など 従来よりも施工現場での工数を 削減できる製品を製造・販売



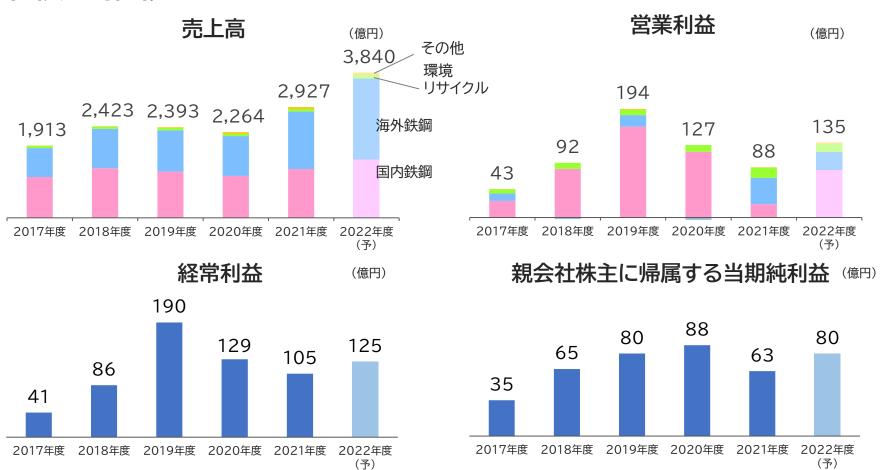
高強度せん断補強筋 「キョウエイリング685」 (2021年4月発売)



KYOEI STEEL

業績の推移



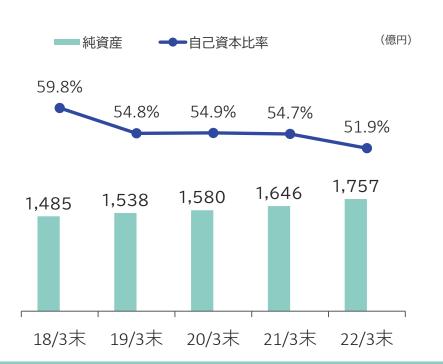


財務の状況

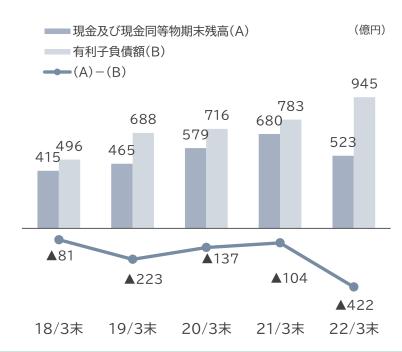


近年の海外事業への積極投資により借入増加も 格付は「A-」を維持

純資産・自己資本比率



現預金·有利子負債額



本日の内容



- (1) 当社グループのご紹介
- 2 当社グループの海外事業のあゆみ
- (3) 当社グループのベトナム事業
- (4) 海外事業で得た教訓

共英製鋼の海外事業の歩み 前半 (除く海外指導)



- 1964 台湾/民豊工業と合弁で民豊康工業を設立
- 1970 タイ/チョンビリア・スチールを設立 ⇒ 1985 売却
- 1973 米国/オーバンスチール設立 ⇒ 1982 経営権譲渡
 - アフリカ/スーダン・スチールに資本参加 ⇒後に売却
- 1974 インドネシア/ジャカルタ・キョウエイ社を設立 ⇒ 1982 売却
 - ブラジル/シデパール社を設立 ⇒ 1978 売却
- 1975 ナイジェリア/ナイジェリアシスコ社の合弁に参加 ⇒後に売却
- 1992 米国/フロリダスチール社の経営権取得 (アメリスチールに改称) ⇒ 1999 売却



共英製鋼の海外事業の歩み後半 (除く海外指導)

- 1994 ベトナム/ビナキョウエイスチール社(VKS)を設立
- 1997 ベトナム/チーバイインターナショナルポート(TVP)設立
- 2011 ベトナム/キョウエイスチールベトナム社(KSVC)を設立 (既存事業買収)
- 2016 米国/ビントンスチール社(Vinton)を設立 (既存事業買収)
- 2017 ベトナム/ベトナムイタリースチール社(VIS)の株式を取得
- 2020 カナダ/アルタスチール社(Alta)の株式取得

共英製鋼の進出した国





大阪の町工場から世界へ1



① 創業者の高い志とチャレンジ精神

3つの思い:

必要に迫られて海外進出を志向したわけではない

- 1. 日本の復興に貢献したい
- 2. 世界の人に日本人の本当の姿を見せたい

3. 我々の技術を真の豊かさへ活かしたい



高島 浩一

大阪の町工場から世界へ 2



② トップのチャレンジ精神に 応える社員の力

教えながら自らを鍛え学ぶ 技術指導をしながら自らの社員を鍛えていく



汎用品である鉄筋に徹し、 厳しい競争の中、得意分野で技術力を磨く







グローカル・ニッチ戦略



地産地消ビジネスである電炉事業を、需要の旺盛な海外のエリアで展開することで、 グループ全体の成長、ひいては企業価値の向上を図る

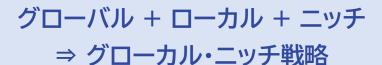


ベトナム・イタリー・スチール社 2018 買収



キョウエイ・スチール・ベトナム社 2011 設立

ビナ・キョウエイ・スチール社 1994 設立



カナタ

米国



アルタ・スチール社 2020 買収

日本

バトナム



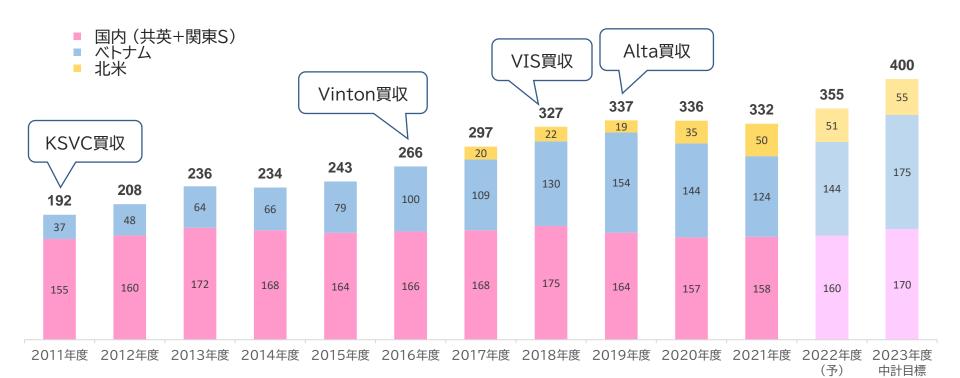


ビントン・スチール社 2016 買収

製品出荷量推移(国内外)



2019年度に海外拠点の出荷量が国内を上回る



27

本日の内容



- (1) 当社グループのご紹介
- (2) 当社グループの海外事業のあゆみ
- 3 当社グループのベトナム事業
- (4) 海外事業で得た教訓

メコンを興せ! ~ベトナム進出の経緯 1



1974年 南ベトナムでの技術指導 ⇒ ベトナムの成長可能性を確信

1975年 ベトナム戦争終結

1986年 ドイモイ政策開始

1991年 当社内にベトナムチーム発足 ⇒ ベトナム進出を決定

1993年 ベトナム鉄鋼公社と合弁事業契約締結

1994年 南部ビナ・キョウエイ・スチール(VKS)社設立、建設許可取得

1996年 VKS社圧延工場竣工披露·開所式



合弁事業契約調印式(1993)



鍬入式(1994)





「ただ已が利益を追求する為でなく、 その国の発展に寄与せんがため。 それが共英の歴史に息づく理念である」

高島 浩一 (ベトナム進出時の言葉)

決断の経緯



- ① 創業者の想い ベトナムの復興の一助となりたい
- ② ベトナム経済の成長性と民度の高さ 戦後の日本に重なる
- ③ **建材需要伸長の可能性** 途上国経済のテイクオフには 最初に鉄筋と線材が必要

進出時の問題



- ① 資金調達の難しさ 当時はアメリカの敵国、多くの金融規制が障害に
- ② 未発達なインフラ整備(電力) 当時は停電が日常茶飯事
- 3 **合弁交渉** ベトナム投資の先駆者として評価されるも、交渉は難航
- 4 現地関係者との価値観の共有 ベトナム人、ベトナム政府との考え方の違いに苦戦

当社グループのベトナム拠点



1 ベトナム・イタリー・スチール社(VIS)

事業内容: 鋼材の製造・販売 (棒鋼、線材)

生産能力:製鋼45万トン/年、 圧延30万トン/年

2018年 買収



2 キョウエイ・スチール・ベトナム社 (KSVC)

事業内容: 鋼材の製造・販売 (棒鋼、線材)

生産能力: 圧延30万トン/年

2011年 買収設立

3 ビナ・キョウエイ・スチール社(VKS)

事業内容: 鋼材の製造・販売 (棒鋼、丸鋼、形鋼、線材)

生産能力: 製鋼50万トン/年、

圧延90万トン/年

1994年 設立



15/

4 チー・バイ・インターナショナル・ ポート社 (TVP)

事業内容: 港湾事業

1995年 設立



5 ビナ・ジャパン・エンジニアリング社 (VJE)

事業内容: 銑鉄鋳物製品の製造・販売

生産能力: 9,000トン/年

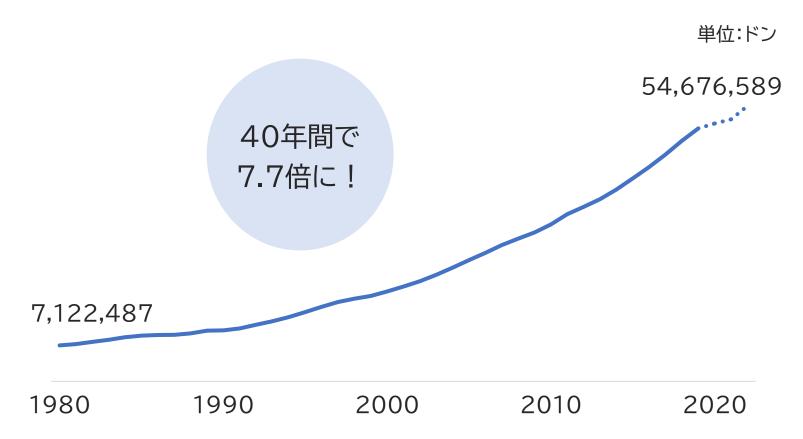
1996年 設立





ベトナムの一人当たり実質GDPの推移



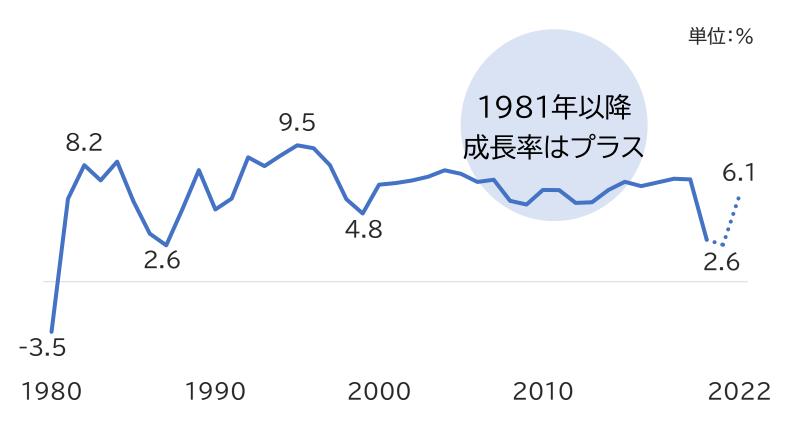


^{※2020}年以降はIMFによる2022年4月時点の推計

[※]SNA(国民経済計算マニュアル)に基づいたデータ

ベトナムの経済成長率の推移





^{※2021}年以降はIMFによる2022年4月時点の推計

[※]実質GDPの変動を示す ※SNA(国民経済計算マニュアル)に基づいたデータ

ベトナム市場の特徴

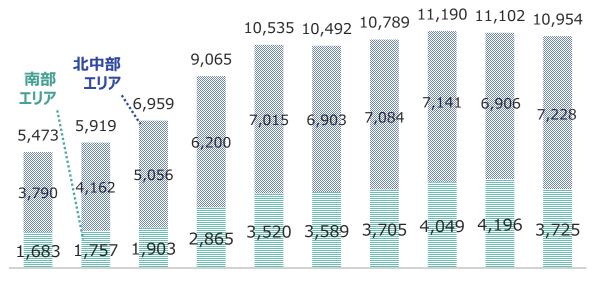




条鋼需要推移

過剰生産が懸念されるも、引き続き需要は旺盛

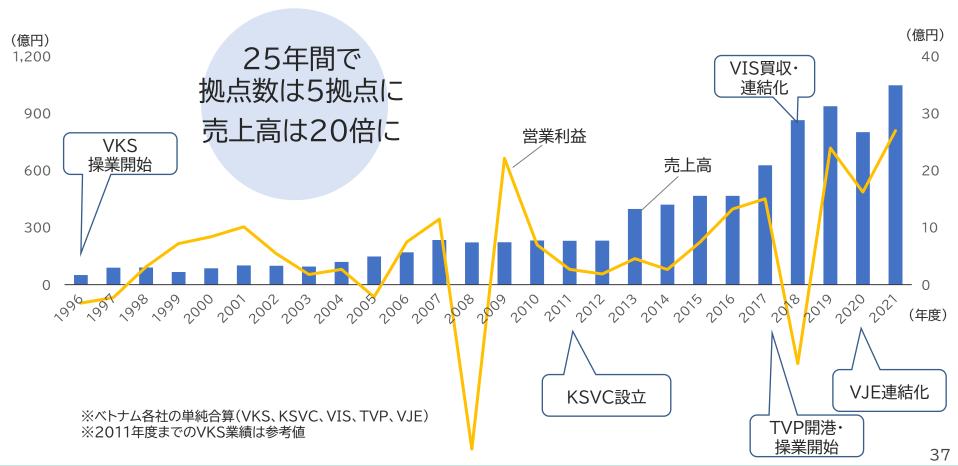
(千トン)



2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020

ベトナム事業の業績推移





ベトナムの鉄鋼マーケット

KYOEI STEEL

日本との違い

- ・需要は強いが、ホア・ファットなどの高炉メーカー、 小さな誘導炉メーカーとの競争が激しい スクラップ輸入国であり、地産地消の環境にはない 環境規制が緩やかで電炉優位の状況にない
- ・個人住宅も施主が鉄筋のメーカーを選ぶ そのため、鉄筋はBtoC産業となっている
- ・これから住宅を購入する若い世代に向け テレビやランドマークへの広告出稿が有効
- ・鉄筋といえば「ビナ・キョウエイ」 ⇒ 実質的なMade in Japanとしてブランド確立



現地子会社提供のテレビ番組の一場面





広告の例

ベトナムビジネスのメリット



・人口増加が見込まれる成長マーケット 平均年齢約32歳(日本48歳)の若い国



一党独裁で基本的に政権交代による混乱なし



"Made in Japan" に対する信頼度

- ・安い労働コスト、高い民度
 - かつてより上昇も日本の10分の1
 - 優秀な人材が多くワーカーの質も高い





ベトナムビジネスのデメリット



・許認可の手続きの遅さ

- ファシリティー・ペイメントの問題
- 意思決定プロセスの不明朗さ



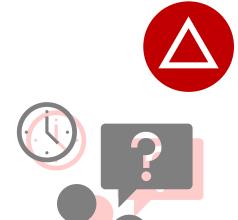
- 異なる価値観で交渉が難航



- 複雑な法規制と変わるルール、 企業の財務情報も不透明

コミュニケーションの取りにくさ

- 日本人には難しいベトナム語



ベトナム事業で得た教訓 1



① 先んずれば人を制す

⇒ いち早い進出がその後の展開や ブランド力向上につながった

② 我慢と辛抱

⇒ 交渉事や許認可取得に時間 …ときに妥協せず諦めず

③ ベトナム進出の思いを大切に

⇒「ベトナムの発展・国づくりに貢献する」 誠意と熱意がなければ伝わらない



サン国家主席(当時・右)がVKS社新工場開所式 に出席(2015)



インフラ整備に必要不可欠な鉄筋

ベトナム事業で得た教訓 2



④ 人はそれぞれ

⇒ 国民性も育ちも違う 「ベトナム人」と一括りにしない



⇒ 現地のやり方をよく理解して対応する

⑥ 同じ目線と立ち位置で

⇒ 昔は教える立場、今は互いに教え合う 相手を尊重しプライドを傷つけない





本日の内容



- (1) 当社グループのご紹介
- (2) 当社グループの海外事業のあゆみ
- (3) 当社グループのベトナム事業
- 4 海外事業で得た教訓

普通の会社の普通でない海外進出









1973 オーバン・スチール

創立

割立 70周年



3回目の米国進出 世界3極体制の盤石化



2016 ビントン・スチール買収



2020 アルタ・スチール買収

第1の飛躍期:

1972年(25周年)頃

国内の基盤整備 初の米国進出

創業

オイルショック

米国事業を売却

第2の飛躍期:

米国事業を売却し

資金捻出

バブル

崩壊

1992年(45周年)頃

2回目の米国進出



1992 アメリスチール(米国)

激動の社会の中で、なぜ事業を続けられたのか





真似できない 優れた製品や技術 **KYOEI STEEL**

汎用品を低コストで つくる操業技術

攻め続けていたから生き残れた

日本企業の生きる道



グローバルで生きるか ローカルで必要とされる企業で生き残るか

・グローバル企業

新しい技術や製品開発で世界的な企業となる ⇒ ソニー、パナソニック、ダイキン工業…

・グローバル・ニッチ企業

世界市場のニッチな分野でトップ企業を目指す ⇒ シマノ、太陽工業、フジキン…

・グローカル・ニッチの道?

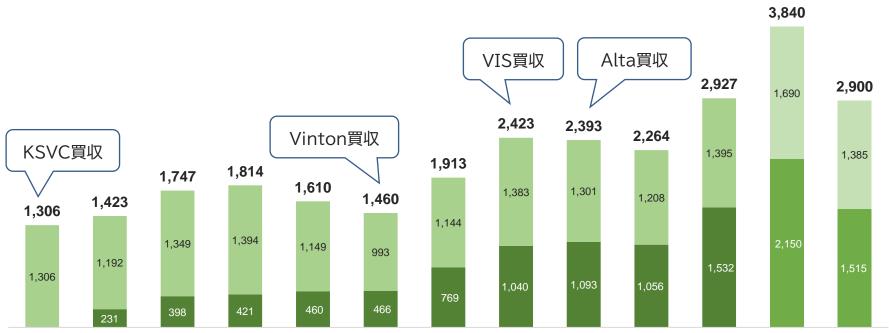
社会で必要とされるビジネスを、海外でもローカル&ニッチな市場で展開する

海外事業の売上高推移



2021年度より海外拠点の売上が国内を上回る

■ 海外 ■ 国内 (億円)



2011年度 2012年度 2013年度 2014年度 2015年度 2016年度 2017年度 2018年度 2019年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 (予) 中計目標

創立75周年を迎えて











過去の歴史に学び、逆境をバネにさらなる飛躍を

Spirit of Challenge













NeXuS

>>> Next Success

次代の成功=100年企業を目指して

これまでの「鉄づくりを通じて社会に貢献する」企業から、 これからの「サーキュラー・エコノミー社会」の中で 資源循環型事業を通じ、社会の発展と地球環境との調和に貢献する "エッセンシャル・カンパニー"を目指します

写真:ベトナムサイゴンパール(VKS社の鉄筋を納入)

ご清聴ありがとうございました

※ 共英製鋼株式会社

参考:ベトナム基礎データ



ベトナム社会主義共和国



面積	33万平方キロメートル
人口	約9,762万人
首都	ハノイ
宗教	仏教、カトリック、カオダイ教
言語	ベトナム語
経済成長率	2. 91%
一人当たり GDP	3,498米ドル
国民性	6K (勤勉、器用、近視眼的、かかあ天下、 コネ社会、交渉上手)





ホーチミンの夜景



ハロン湾(ベトナム北部)



ベトナムの日常 (バイク文化)



参考:ベトナム基礎データ

KYOEI STEEL

独自の慣習など

- テト休暇旧暦のお正月(5連休)テト明けは需要期となる
- 鬼月
 旧暦の7月(1か月間)でベトナムのお盆
 家や新車などの大きな買い物、起業などが
 タブーとされている。鬼月の後は、需要期となる
- 気候 9~12月 雨季は工事の進捗が停滞し荷動き悪化
- ⇒ 暦や気候による業績への影響大!





